

強度変調放射線治療の安全性を保証するための解析・検証プログラム に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年1月6日～2021年3月31日

〔研究課題〕

強度変調放射線治療の線量分布解析プログラムに関する共同研究

〔研究目的〕

一回で、または複数回に分割して大線量をピンポイントに照射する定位放射線治療の安全性を正確に確認する測定装置としてゲル線量計の臨床利用の基盤構築を行います。

〔研究意義〕

がん治療において定位放射線治療は外科手術に匹敵す技術ではありますが、患者体内の「3次元的に不可視な」線量分布の安全性を保証できる装置は現在ありません。3次元的な評価が可能な装置としてゲル線量計が注目されていますが、臨床現場での利用に至っていません。そこで、線量分布解析プログラムを利用して定位放射線治療の安全性を保証するゲル線量計の臨床利用の基盤を構築し、高品質な放射線治療の提供を目指します。

〔対象・研究方法〕

放射線治療計画で作成・保存された照射情報を利用して、2018年8月1日から2020年8月1日までの2年間で高精度放射線治療を行った患者(対象疾患:頭頸部癌、前立腺癌、肺癌、脳腫瘍)を対象とします。線量分布解析プログラムを利用して新規ゲル線量計の基礎的物性特性および臨床的有効性を検証します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部放射線科学講座、トライアングルプロダクツ(放射線治療に関連したコンピュータプログラムソフトウェアの開発および制作会社)と共同研究契約を結んで研究を行う

〔個人情報の取り扱い〕

本研究にあたり、各患者の個人情報は厳重に保護されます。取得データは匿名化として記憶媒体に保存し、記憶媒体にはパスワード設定、暗号化等を行い、セキュリティー対策を行います。取得データは、研究終了後、帝京大学臨床研究センターで10年間保管後に破棄します。

〔その他〕 本研究では既に治療が終了した患者さんの情報を利用いたしますが、謝金等は発生しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：医学部放射線科学講座 病院教授 白石憲史郎

研究分担者：帝京大学医学部附属病院中央放射線部 副主事 上原隆三

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 7116]